

DOCTOR!

鳥取の地域医療を考えるマガジン ドクトリ!

vol.

11

2024 / Summer

DOCTOR!

第11号 2024年8月発行 鳥取県地域医療支援センター



総合診療医育成強化専門員 大塚裕真先生と鳥取市立病院総合診療科の先生方

特集1

総合診療医育成・確保強化事業スタート!
総合診療医を中心につくる
地域医療の新しいカタチ

特集2

鳥取県で医師のキャリアを築く!
～鳥取県キャリア形成プログラムを充実化～

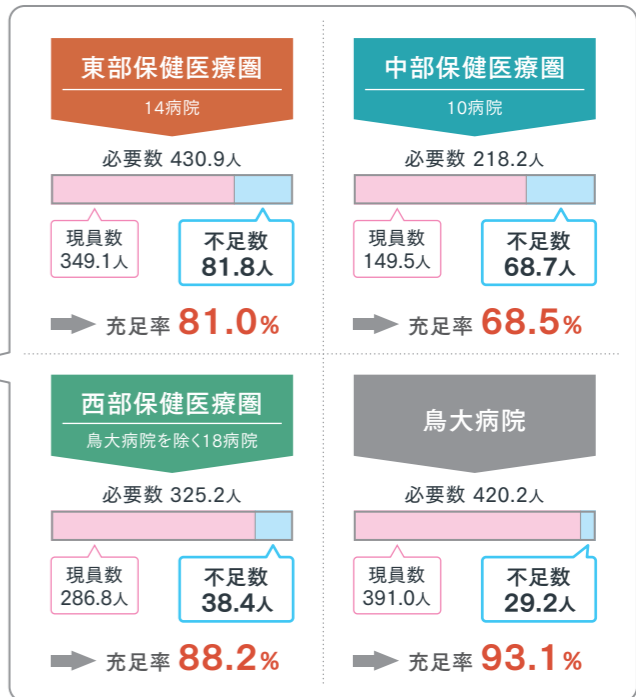
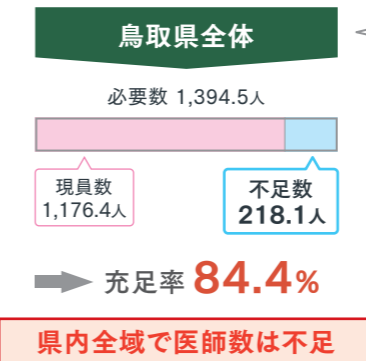
※本誌掲載の写真、図版、記事などの無断転載を禁じます。

鳥取県地域医療支援センターからのお知らせ

NEWS
1

鳥取県内43病院の医師数は足りている? 2024(令和6)年の『医師数調査結果』が出ました

鳥取県では、県内病院において必要としている医師数の現状を把握し今後の施策に生かすため、毎年1月1日現在で「医師数に関する調査」を実施しています。「必要数」とは、現行の診療体制を基本とした上で、各病院が令和6年4月1日に必要としている医師数です。「現員数」は令和6年1月1日現在の医師数で、臨床研修医を除いています。



鳥取県地域医療支援センターについて

鳥取県地域医療支援センターは、鳥取県・鳥取大学医学部附属病院が連携し、鳥取県の地域医療の充実・発展のために2013(平成25)年1月に設置されました。私たちは、鳥取県の医師不足解消のために、地域枠などの医師のキャリア形成支援や医師の地域偏在解消に取り組んでいます。専任医師も勤務しており、皆さまのご相談などを伺っています。

- 鳥取県の医療・奨学金制度に関すること** | 鳥取県福祉保健部 健康医療局 医療政策課
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220
TEL 0857-26-7195 FAX 0857-21-3048
- 医師のキャリア形成・相談に関すること** | 鳥取大学医学部附属病院 鳥取県地域医療支援センター
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL 0859-38-7005 FAX 0859-38-7006

とっとりドクター Naviのご登録を受付中!

鳥取県の地域医療に関心をお持ちの全国の高校生・医学生・研修医の皆さまに役立つ県内の医療情報や勤務に関する情報、医師としてのスキルアップに関する情報として、「DOCTOR!」やメールマガジンをお届けします。どなたでもご登録いただけます。

とっとりドクター Navi
登録申込フォーム ▶▶▶
<https://www.pref.tottori.lg.jp/273080.htm>



※なお、ご登録情報の変更についても、登録申込フォームで承っております。

広報誌名
『DOCTOR!』の由来

「DOCTOR」と「鳥取県」を合わせた造語です。医師の皆さんに、鳥取県で活躍してほしいという願いが込められています。

編集発行 鳥取県地域医療支援センター

〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1(鳥取大学医学部附属病院内)
TEL 0859-38-7005 FAX 0859-38-7006
Eメール: t-chiikicen@med.tottori-u.ac.jp
Webサイト: <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/>



□ 制作/有限会社キーワード 〒680-0051 鳥取県鳥取市若桜町39 ロゴス文化会館1F TEL 0857-29-4018

「DOCTOR!」の
バックナンバーは
こちら▶▶▶



総合診療医を中心につくる 地域医療の新しいカタチ

医師の高齢化等により、今後さらに地域のかかりつけ医が減少する懸念から、鳥取県では、特にニーズの高い総合診療医の育成・確保に注力するため、2024年4月から「総合診療医育成・確保強化事業」を開始しました。新たに設置した「総合診療医育成強化専門員」の活動に期待が寄せられています。

県内の医師数は、2022年現在で1740人となり、2年前の前回調査から2名減となりました。人口10万人当たりの医師数では全国8位と、不足していないように見えますが、地域間の偏在や医師の高齢化などにより、診療所の閉院や勤務医の不足などの課題があります。

そこで鳥取県は昨年度、「中山間地域を支える医療人材確保に向けた研究会」を立ち上げ、県内医療機関や市町村関係者と協議を重ねてきました。そして、中山間地域の病院において特にニーズの高い総合診療医の早期育成と確保対策を強化するため、今年4月から「総合診療医育成・確保強化事業」がスタート。鳥取大学医学部地域医療学講座に、総合診療医の育成を担う「総合診療医育成強化専門員」を新

たに設置し、大塚裕真医師が就任されました。大塚医師は、「鳥取の総合診療専門医を育てるプログラム」を経て総合診療専門医となった第1期生。培ってきた経験を生かして後進育成に尽力し、仲間と共にこれからの地域医療を築いていこうとしています。その活動内容や意気込み、思いを描くビジョンを大塚医師に伺いました。

Career Pass

- 1992年 鳥取県鳥取市生まれ
- 2017年 鳥取大学医学部医学科 卒業
- 2017年 臨床研修：鳥取大学医学部附属病院 関西たすきがけプログラム
 - (公財)田附興風会医学研究所北野病院
- 2019年 ●鳥取大学医学部附属病院
- 2019年 鳥取の総合診療専門医を育てるプログラム
 - 鳥取市立病院
 - 鳥取県立中央病院
 - 公立豊岡病院組合立豊岡病院
 - 日南町国民健康保険日南病院
- ※2021年 鳥取大学大学院入学
- ※2022年 北海道家庭医療学センターへ国内留学
- 2023年 → 総合診療専門医 取得
- 2023年 江府町国民健康保険江尾診療所
- 2024年 → 家庭医療専門医 取得
- 2024年 鳥取大学医学部地域医療学講座 特命助教
総合診療医育成強化専門員 就任



鳥取大学医学部
地域医療学講座 特命助教
おおつか ゆうま
大塚裕真 医師

総合診療医育成強化専門員

INTERVIEW

「守る」だけでなく、県全体として「いかに変わっていくか」がカギ

総合診療医は、特定の症状や臓器だけを診るのではなく、一個人間として総合的に診療します。患者本人はもちろん、共に暮らす家族、仕事といった生活背景まで包括的に診て、地域住民の健康な生活を支援します。そうした総合診療医をもっと増やし、持続可能な地域医療の形を実現するとともに、その質の向上を図るのがこの事業の大きな目的。現在は、鳥取大学医学部附属病院をはじめ、日野病院や日南病院、鳥取市立病院などの地域病院へ出かけ、医学生の教育、若手医師への指導・キャリアサポート等を行っています。

中山間地域では少子高齢化が進みます。これからの経営・運営が成り立たなくなっています。市町村や病院単位ではなく、「県全体として地域医療をどう展開するか」という方向へ舵を切る時がきており、医師・病院・行政の間に立って、それぞれをつなぐ役割を担うのも私の使命です。

まずは、県内のいろんな病院

鳥取市立病院の専攻医が担当する患者の検査結果を見ながら、一緒に症例の振り返りを行う大塚医師。同病院総合診療科の医師も加わって、真剣に意見を交わす。

持続可能な地域医療
一人一人が相互に関わり合い、高め合うwell-being

育成強化専門員として
どんな活動をしている？

学生や若手医師への指導で
気を付けていることは？



県内内科専門研修プログラム紹介

鳥取医療生活協同組合
鳥取生協病院

内科専門研修プログラム

お問い合わせ
鳥取生協病院 医局事務課
TEL: 0857-24-7251(代表)
e-mail: kensyu@med-seikyo.or.jp



鳥取県立中央病院

内科専門研修プログラム

お問い合わせ
鳥取県立中央病院臨床研修センター
TEL: 0857-26-2271(代表)
※「問合せフォーム」よりお問い合わせ可



鳥取大学医学部附属病院

内科専門医研修プログラム

お問い合わせ
鳥取大学米子地区事務部総務課専門研修等係
TEL: 0859-38-7005
e-mail: senmoni@ml.med.tottori-u.ac.jp



私のキャリア紹介

～ 専門研修プログラム基本領域別 ～

こちらのページでは、実際に専門医・専攻医の先生方がどのように専門研修に取り組まれたか、そして今後のキャリアをどう捉えておられるかを専門研修プログラムの基本領域ごとに、シリーズでご紹介します！

Vol.1

-内科編-



県内勤務・内科に進むことは決めており、当時、県職員医師が登録できる県内唯一のプログラムであった鳥大病院内科専門医研修へ進みました。

内科の専門研修期間は一般的に3年間ですが、選択した「地域医療支援医コース」は4年間の研修期間を必要とします。しかし、不安や焦りはなく、症例についても不足なく経験することができ、問題はありませんでした。

J-OSLER(専攻医登録評価システム)への登録作業の負担が大きく、日常業務との両立に苦労しましたが、自己省察や指導医の先生のご指導により、学びがさらに深まったと感じます。

専門研修を振り返って



日南町国民健康保険
日南病院 内科

よしだ りょう
吉田 諒 先生

特別養成枠

選抜方法

鳥取大学医学部医学科
学校推薦型選抜II(特別養成枠)

鳥取県鳥取市生まれ。2017年3月、鳥取大学医学部医学科卒業。

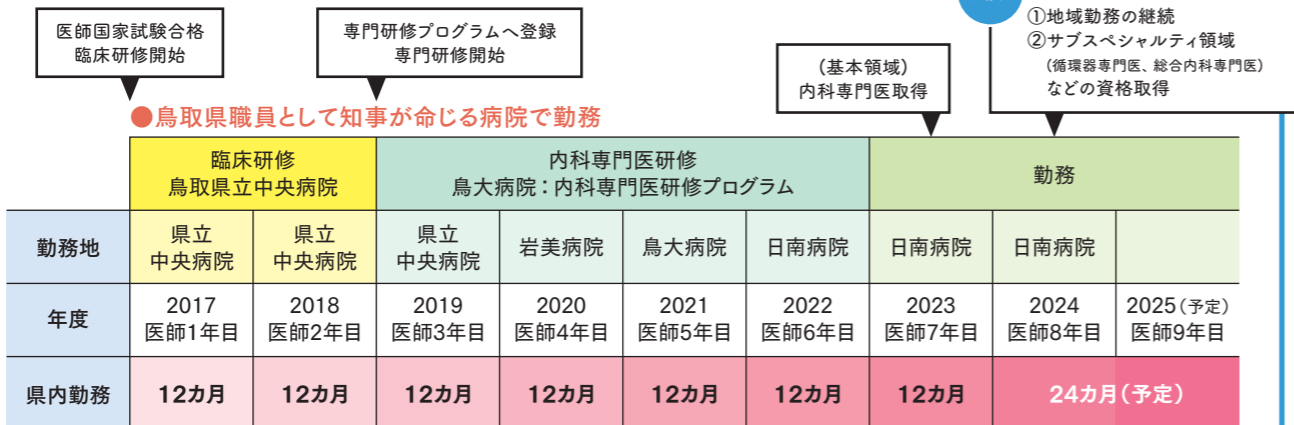
今後の抱負

特別養成枠としての従事要件を全うし、サブスペシャリティとして循環器専門医・総合内科専門医などの資格取得を目指しています。

これまで地域医療に従事する中で培った知識・技術・経験を基にして、総合的に患者さんを診る姿勢を大切にしながら、その上で専門性も高めていきたいと思っています。



吉田先生のキャリアパス



今後の抱負

アレルギー、喘息、リウマチ等のサブスペシャリティ分野の専門医取得と大学院卒業が目下の目標です。専門分野や勤務地、

大学院入学や、3カ月間の育児休業を取得できたのも、大学病院の良さだと思います。

ア形成までに支障は全くありませんでした。

鳥大病院の自由選択プログラムで臨床研修後、腫瘍から膠原病まで幅広く経験できる点に惹かれて呼吸器・膠原病内科に入局し、鳥大病院の内科専門医研修へ進みました。臨時養成枠の従事要件も8年目のキャリア形成までに支障は全くありませんでした。

専門研修を振り返って



鳥取大学医学部附属病院
呼吸器・膠原病内科

いぬい げんき
乾 元気 先生

臨時養成枠

選抜方法

鳥取大学医学部医学科
一般選抜(前期日程)地域枠

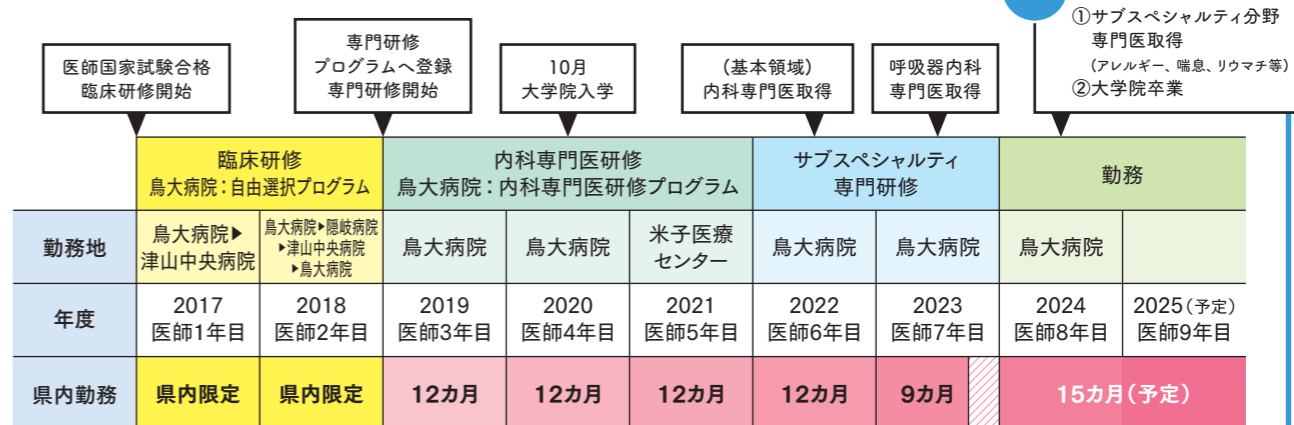
鳥取県米子市生まれ。2017年3月、鳥取大学医学部医学科卒業。

勤務形態の希望等、個々人の状況を配慮してもらえる点も当科の良さの一つです。

今後の進路は未定ですが、常に住民の方の視点を持ち、医療と患者さんの最良を擦り合わせて判断できる医師を目指したいと思っています。



乾先生のキャリアパス



医師確保の取り組み

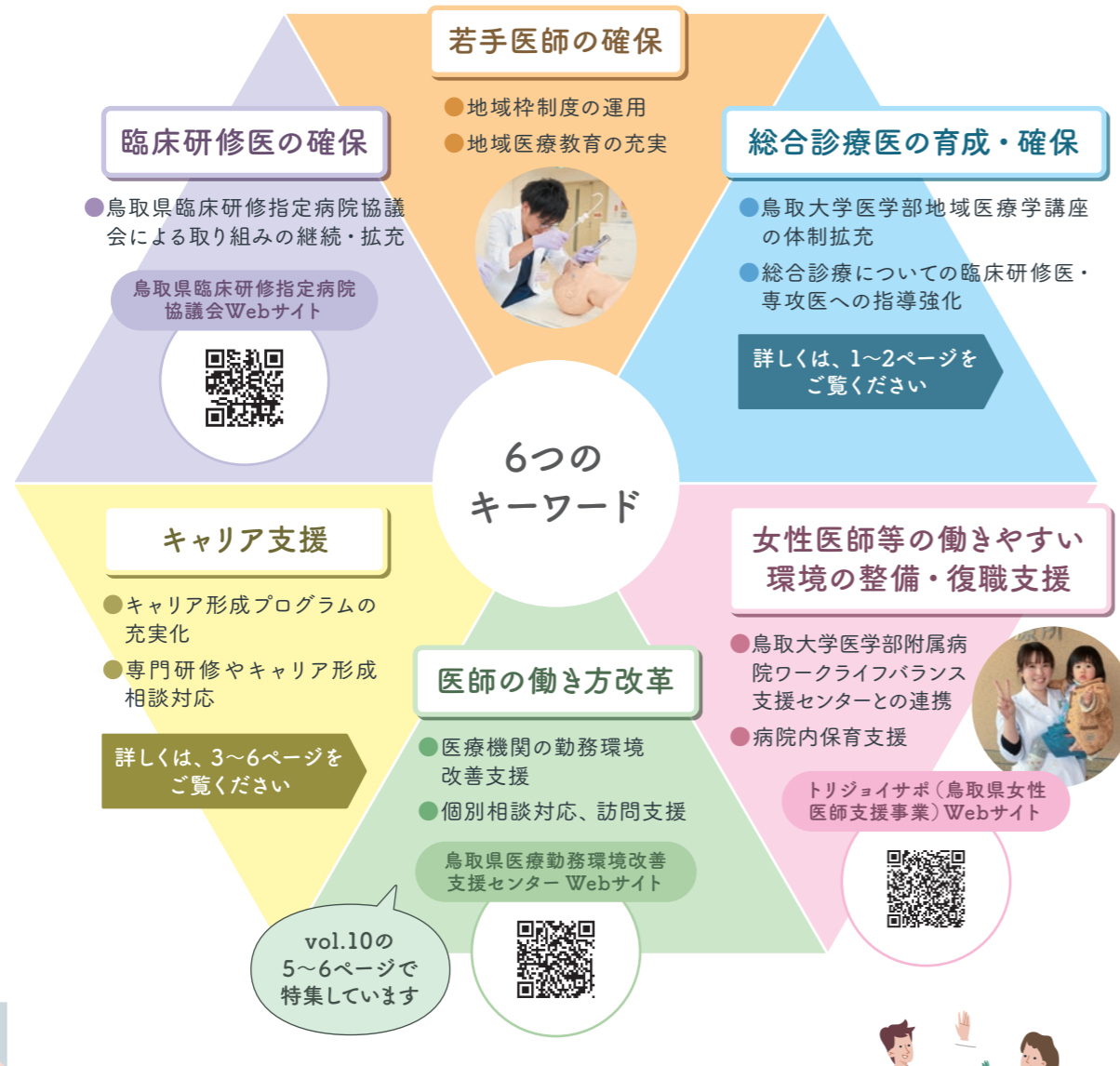
関係機関の連携により 若手医師が働きやすいとっとりをつくります！

2024年4月、「第8次鳥取県保健医療計画」の一環として「鳥取県医師確保計画」が策定されました。医師確保に向けて、地域枠医師をはじめとする若手医師の多様な働き方を支援するとともに、地域ニーズに応える医師の養成などに力を入れていきます。

第8次鳥取県保健医療計画の詳細はこちら



2024年度、医師確保計画は新ステージへ



とっどりの地域医療を守る「チームDOCTRI!」の一員になりませんか？

本県は、人口も医師数も少ないからこそ、横のつながりを強化し協働ができる環境にあります。共に学び合い、助け合いながら、これからのとっどりの地域医療を築いていきましょう！



とっどりの地域医療を守るために

輝けDOCTRI!



鳥取県は国の医師偏在指標では「医師多数県」と位置付けられています。しかし、特に中山間地域において医師確保が困難な現状では決して充足しているとはいえません。このページでは、本県の医師の現状と課題、そして未来に向けた様々な取り組みについてご紹介します。



医師の現状と課題

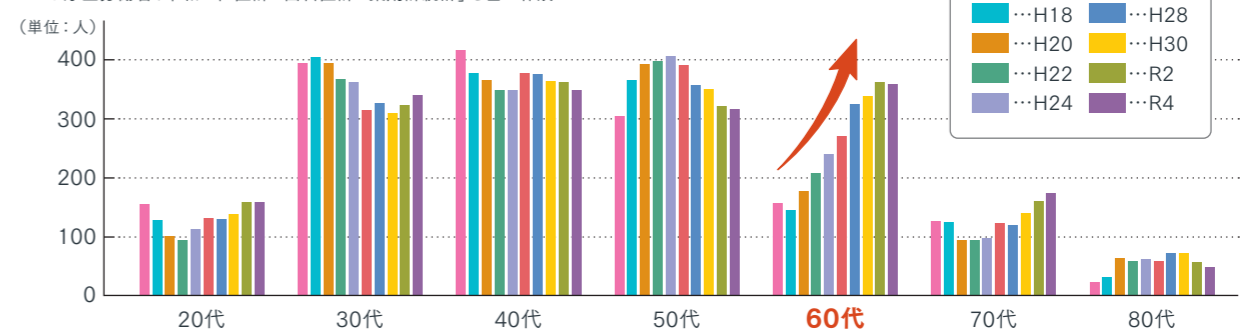
前回調査から医師数減少 減少局面の兆しに大きな危機感

厚生労働省「令和4年医師数統計」によると、鳥取県の医療施設従事医師数は1,740人と、前回結果から2人減という結果でした。地域枠の取り組みなどの効果もあり、近年は増加傾向にあった中で、この減少は予想外。減少局面へシフトする懸念を示しています。

改めて本県の状況を分析すると、高齢医師の世代交代に対して、若手医師の養成が追いついていないという課題が浮かび上がってきます。また、増加傾向にあったとはいえ、本県の医師数の伸び率は全国平均と比較して低く、これまで以上に多角的な医師確保対策を打ち立てる必要があります。

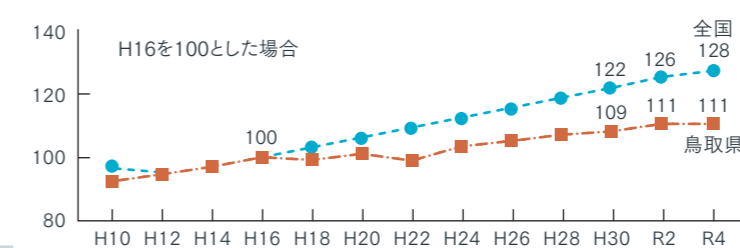
▼年代別の医師数(医療施設従事)の推移

※厚生労働省「令和4年 医師・歯科医師・薬剤師統計」を基に作成



▼全国と鳥取県の医師数(医療施設従事)の推移の比較

※厚生労働省「令和4年 医師・歯科医師・薬剤師統計」を基に作成



グラフのポイント

特に60代医師の伸びが突出しています。近い将来、この年代以上の医師たちの世代交代により、医師不足に拍車がかかることが危惧されます。

1度は行くべし! TOTTORI★イチョオシ名鑑

地元の魅力を知り尽くす謎の編集部員「SR」が、観光地とグルメを毎月1カ所ずつご紹介いたします。せっかくの鳥取LIFE、楽しまなきゃ損ですよ!

Enjoy Tottori life!



リアルな走行感がたまらない 本格的レーシング体験!

本業は八百屋さんながら、店舗奥にはなんと、e-sport仕様からプロドライバー練習用まで3タイプのレーシングシミュレーターマシンがドン! ハンドルやアクセル・ブレーキ等が備わったシートに座ると、3つの大型モニターに映し出されたサーキットコースが視野いっぱいに広がり、気分はもうレーサー。加速やブレーキ、急カーブ時にはハンドルが重くなったり衝撃でシートが揺れたりするので、臨場感この上なし。

初心者には、実際のレース経験もある店主さんが丁寧に教えてくれますよ!



エスエス ベース SS BASE



住 鳥取市新品治町16 やおや ぼけっとふぁーむ内
☎ 080-3053-2137
営 12:00~最終受付19:00(日曜日は10:00~) ※予約優先
休 水曜日
¥ 15分・1,000円~ ※使用マシンによって異なる
P あり(無料)
🚗 JR鳥取駅から車で約7分

体験できるのは
黒内までこだけ!



さんかくの気もち



▲おむすび1個 150~240円

住 米子市両三柳58-2 マルイ両三柳店敷地内
☎ 0859-21-1539
営 10:00~19:00
休 年末年始
P あり(無料)
🚗 JR米子駅から車で約10分

Webサイト



心まで満たす優しい味わい こだわり尽くしの三角おむすび

小腹が空いた時、食事をささっと済ませたい時は、コチラのおむすび専門店へどうぞ。

ほっくり炊き上がった鳥根県奥出雲産コシヒカリ「仁多米」は、有明海苔と相まってかむほどに旨味が広がります。さっぱりレモンと鯖の相性抜群の「炙りさば塩レモン」、地元産紅ズワイガニのほぐし身たっぷり「境港のカニ」など、具材にこだわったラインナップは全29種類と豊富。サークル活動時のランチ、ちょっとした差し入れにもピッタリ。平日なら、おむすび2個+サイドメニュー2品のセット(690円)がお得です!



若手医師・医学生REPORT

DOCTORI!のタマゴ

「これから“DOCTORI!”になるぞ」と頑張っている先輩たちに、これまでの歩みや現在の様子を聞いちゃいました!

ローテートしながら進路を模索中!



鳥取県立中央病院
臨床研修2年目

まきた だいご
牧田 大瑚 先生

1998年 埼玉県伊奈町生まれ
2023年 鳥取大学医学部医学科 卒業
2023年 鳥取県立中央病院
臨床研修医

私は埼玉県出身ですが、臨時養成枠で鳥取大学医学部に入学したことから、鳥取県内で臨床研修を行っています。「どこで働きたいか」といったこだわりがありません。鳥取県立中央病院を選んだのは、研修医の人数が多くて楽しそうだなと思ったのと、施設がきれいだと感じたからです。



美しいゴルフ場で
目指すベスト更新

おり、研修を経ても変わらなかったため、その方向へ進もうと考えています。将来のビジョンもまだまだ未知数なのですが、一人前の医師になれるように頑張りたいと思っています。

ゴルフが好きなので、休日はゴルフをしていることが多いです。鳥取県はきれいなゴルフ場が多く、練習場も近いので、ゴルフ好きにはたまらない環境です。最近はスコアが停滞気味なのですが、またベストスコアを出せるよう練習に励んでいます!

医師になり、故郷・鳥取に恩返ししたい



鳥取大学
医学部医学科 6年

いのうえ はるな
井上 晴菜 さん

1999年 鳥取県鳥取市生まれ
2018年 鳥取西高等学校 卒業
2019年 鳥取大学医学部医学科 入学

私が地域枠を選んだのは、鳥取県出身であり、卒業後は地元で働こうと考えていたことに加え、奨学金により金銭的な負担も減らせると思ったからです。実際、アルバイトを詰め込まなくても十分暮らしていけるので、本当にありがたい制度だと感じています。卒業後は県内の病院で2年間の臨床研修を行い、その後専門医の資格を取得、最終的には地元で開業できたらいいな、なんて将来を思い描いています。



遮るものがない
空と海のパンorama

お世話になった地域や、医師になることを応援してくれた方々に少しでも恩返しができる場所です。鳥取と一緒に働いてくれる仲間がたくさんいたらうれしいです。

週末はよく鳥取市の実家に車で帰省しますが、米子から鳥取へ向かう山陰自動車道大栄東IC辺りは、日本海の水平線と青い空が視界いっぱいに広がる絶景ポイント。特に晴天の日は水面が輝いてとてもきれい!ドライブの時はぜひ楽しんでみて!